

# 環境経営レポート

【レポートの対象期間：2024年4月～2025年3月】

株式会社 飯塚電機製作所

## 《ご挨拶》

1933年創業以来、エンジン発電機、エンジンポンプの自動制御盤を開発し、航空局の制式器材として全国の各飛行場・通信施設等の予備電源施設を納入、実績を高く評価されるに至り、NHK、各放送局、各官庁等の公共施設や、各電力会社、工場、ビル等あらゆる分野でイイヅカの技術が、活かされ産業界からも絶大な信頼をいただいております。次頁の環境方針を基に環境活動を展開し、地球環境に優しい企業として環境への配慮も企業活動の大きな役割と捉え、お客様から寄せられる多彩なニーズを常にキャッチし、ベストに対応してまいります。以下、「環境経営レポート」としての取り組みをまとめましたので私たちの取り組みをご高覧の上、ご指導、ご指摘をいただき次の環境活動に生かして行きたいと存じます。

株式会社 飯塚電機製作所  
代表取締役社長 飯塚 光正

## 《目次》

1. 環境経営方針	P-1
2. 事業活動の規模	P-2
3. EA21推進体制	P-3
4. 環境経営目標とその実績	P-4
5. 環境経営計画の取組計画と評価	P-5
6. 環境関連法規制の遵守	P-6
7. 代表者による全体評価と見直し・指示	P-7

## 1. 環境経営方針

### [基本理念]

私たちは、かけがえのない地球を守ることが、人類共通の最重要課題のひとつと認識し、今出来る最大限の努力をすると共に、地球環境に配慮した事業活動に努めます。

### [基本方針]

環境保全活動を推進するにあたり、以下に主な活動項目を掲げ取組みます。

1. 当社の主力事業である、高低圧配電盤、自動制御盤のキュービクル設計、製造までの各領域において、技術的・経済的な事情を考慮の上、環境に与える影響を低減すると共に、環境型社会の実現をするために以下の項目を自主的な目標と定めます。
  - ①電力・燃料の使用量及び廃棄物焼却を抑える事により、二酸化炭素排出量の削減を図ります。
  - ②廃棄物の発生を抑制すると共に、可能な物は再利用に努めます。
  - ③節水活動により水資源の使用量削減を目指します。
2. 環境活動の継続的改善を推進するにあたり、環境経営目標・環境経営計画を策定し取組み策定した目標・活動計画は定期的にあるいは必要に応じて見直します。
3. 事業活動において、環境に関する法律・規制その他公的基準を遵守します。
4. 環境経営方針は、全社員に周知するとともに、環境教育を行い社員の環境に関する意識のを図ります。
5. 環境管理に関する情報は、社内外に公表し、地域社会とのコミュニケーションを図ります。

2019年 4月 1日 改訂

株式会社 飯塚電機製作所

代表取締役社長 飯塚 光正

## 2. 事業活動の規模

### 1. 事業所及び代表者名

株式会社 飯塚電機製作所  
代表取締役社長 飯塚 光正

### 2. 所在地

本社： 〒141-0031 東京都品川区西五反田7-17-9 ブライトビル  
TEL : 03-6417-3683 FAX : 03-6417-3684  
茨城工場： 〒306-0204 茨城県古河市下大野2000番地  
TEL : 0280-92-5251 FAX : 0280-92-5466

### 3. 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 : 工場長 長谷川 晃  
担当 : 検査部 鎌田 康史  
TEL : 0280-92-5251  
FAX : 0280-92-5466

### 4. 対象範囲

株式会社 飯塚電機製作所 茨城工場 全組織・全活動  
株式会社 飯塚電機製作所 本社 全組織・全活動

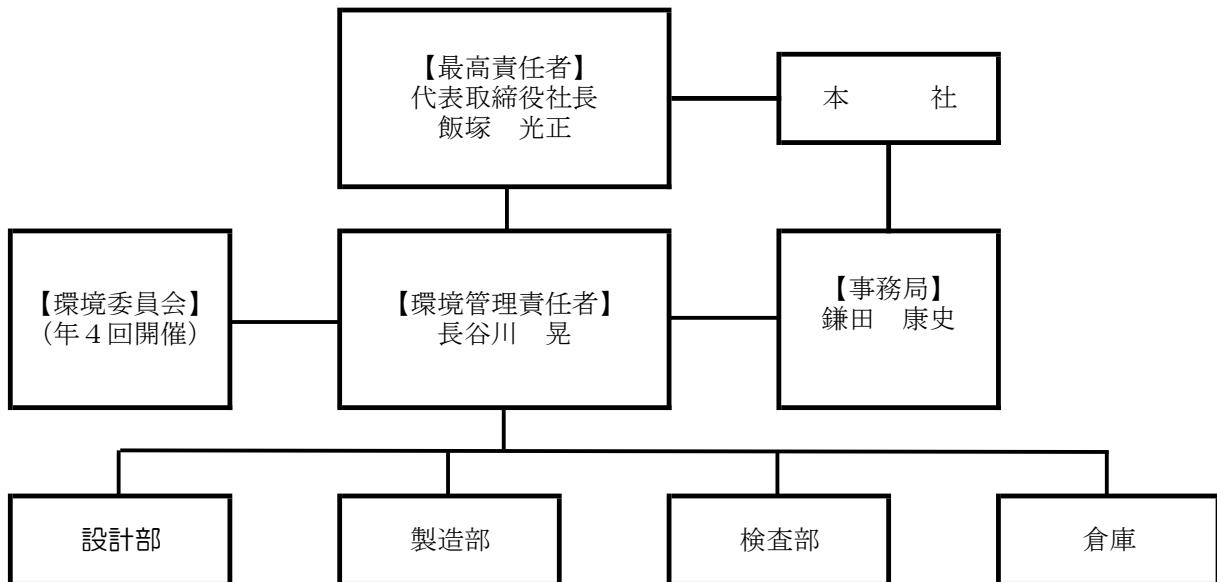
### 5. 事業の内容

高低圧配電盤、自動制御盤のキュービクル設計・製造

### 6. 事業規模

活動規模	単位	2021年	2024年
売上高	百万円	439.82	717.96
従業員数	人	32	31
延べ床面積	m <sup>2</sup>	562.65	562.65

### 3. EA21推進体制



職名	役割
最高責任者	<p>【代表取締役社長 飯塚 光正】</p> <p>①環境管理責任者をはじめ、必要な責任者を任命する。該当責任者には、現在の責務に関わりなく、兼任で責任と権限を明示する。</p> <p>②エコアクション21の構築・運用・維持に必要な経営諸資源（人材・資金・機器・設備・技術・技能を含む）を準備する。</p> <p>③環境経営方針を制定する。</p> <p>④エコアクション21の構築・運用に関する情報を収集し、環境経営方針・環境経営目標をはじめシステム全体の見直しを行い、必要に応じ改訂を指示する。</p> <p>⑤当社における課題とチャンスを明確にする。</p>
環境管理責任者	<p>【長谷川 晃】</p> <p>①エコアクション21に関する経営諸資源の合理的・効果的な運用を図り、目的を達成するために環境委員会を運営する。</p> <p>②エコアクション21の構築と運用を円滑に行い、最高責任者による見直しのための情報として、構築・運用に関する情報を最高責任者に提供する。</p>
事務局	<p>【鎌田 康史】</p> <p>①事務局として、環境管理責任者を補佐し、エコアクション21に関する実務全般を所管する。</p>
環境委員会	<p>最高責任者・環境管理責任者・事務局・部門長で構成し、年4回環境管理責任者が召集する。環境経営目標の設定、環境経営計画の策定及び進捗管理について協議する。環境管理責任者が必要と認めた者は出席することができる。</p>

## 4. 環境経営目標とその実績

当社に於ける2020/4/1～2021/3/31の環境負荷実績を把握し、  
2024年～2026年迄の目標を下記の通り定め活動を開始しました。

### 1. 環境目標とその実績

\*購入電力の排出係数は、0.457を使用しています。

\*2024年の実績は、2024年4月～2025年3月までの1年間のデータです。

環境経営目標	基準値	今年度目標				中長期の目標	
		2021年		2024年		2025年	2026年
	実績	目標	目標値	実績	目標の達成状況		
①売上高100万円当たりの二酸化炭素排出量の削減(kg-CO <sub>2</sub> /百万円)	92.960	2021年実績に対して3%削減	90.170	57.000	2021年実績に対して38.69%削減できた。	2024年実績に対して1%削減	2024年実績に対して2%削減
②売上高100万円当たりの廃棄物排出量の削減(kg/百万円)	9.360	2021年実績に対して3%削減	9.080	5.320	2021年実績に対して43.18%削減できた。	2024年実績に対して1%削減	2024年実績に対して2%削減
③従業員一人当たりの水資源投入量の削減(m <sup>3</sup> )	11.163	2021年実績に対して3%削減	10.828	11.161	2021年実績に対して0.01%削減できた。	2024年実績に対して1%削減	2024年実績に対して2%削減
④化学物質取扱及び管理の徹底	—	管理の徹底	管理の徹底	管理の徹底	管理の徹底	管理の徹底	管理の徹底
⑤本業に関する目標 不良率削減	10.24件/1面	不良率 2021年より10%の削減	9.22件/1面	6.83件/1面	2021年に対して33.3%削減できた。	不良率 2024年に対して3%の削減	不良率 2024年に対して6%の削減

### 2. 主な環境負荷実績

環境への負荷	2021年	2024年
①二酸化炭素排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )	40886	40918.8
②廃棄物排出量(kg)	4,117	3,818
③水資源投入量 (m <sup>3</sup> )	357.2	346

## 5. 環境経営計画の取組みと評価

\*2024年4月～2025年3月までの1年間の活動の取組みと評価をしております。

環境経営計画	環境経営計画の取組結果とその評価
1. 二酸化炭素排出量の削減 ①空調温度適正化・表示 ②照明不要時のO F Fの推進 ③エアコン清掃の実施 ④エコドライブ推進 ⑤社用車の点検・整備	<p>売り上げ増加により目標値に対して38.69%削減している。電気使用量は19.01%増加しているが灯油の使用量を無くした為で、電気使用量と灯油の合計では0.89%削減出来ている。</p> <p style="text-align: center;">次年度の取組内容</p> <p>目標達成するとともに、今後とも削減又は、現状維持に努める。</p>
2. 廃棄物排出量の削減 ①分別ルールの徹底 ②廃棄物置場の整備 ③産廃業者との契約書の確認 ④裏紙使用ルールの徹底	<p>目標値に対して43.18%減少で目標達成できた。 売り上げ増加したにもかかわらず廃棄物量は7.2%の減少が出来た。</p> <p style="text-align: center;">次年度の取組内容</p> <p>分別ルールを徹底し、今後とも削減又は、現状維持に努める。</p>
3. 水資源投入量の削減 ①毎月のメータの確認(漏水防止) ②節水表示(手洗い場・トイレ) ③トイレの節水	<p>目標値に対して0.33%の増加だが削減率は基準年に対して0.01%減少、排水量は基準年に対して3.1%減少出来ている。</p> <p style="text-align: center;">次年度の取組内容</p> <p>節水の削減は横這い状態でこれ以上の削減は見込めないと思われる所以現状維持に努める。</p>
4. 化学物質取扱及び管理の徹底 ①取扱量の管理 ②シンナーからアルコールへの移行	<p>PRTR制度対象物質の把握をし、管理の徹底を行う。</p> <p style="text-align: center;">次年度の取組内容</p> <p>シンナーの使用を出来るだけアルコールにし、環境及び健康面に配慮し削減に努める。</p>
5. 本業に関する目標 ①不良率の削減 ②納期厳守 ③客先からの不良報告ゼロを目指す	<p>目標に対して33.3%削減できた。売上増加したにもかかわらず目標達成できた。</p> <p style="text-align: center;">次年度の取組内容</p> <p>今後も各部署共に削減に努めることとする。 又、客先からの不良報告がゼロを目指す様に努力する。</p>

## 6. 環境関連法規制の遵守

### 1. 当社に適用となる主な環境関連法規

法規制等の名称	遵守事項	遵守状況
騒音規制法	特定施設の届出	遵法
振動規制法	特定施設の届出	遵法
浄化槽法	保守点検実施、法定検査実施	遵法
廃棄物処理法	委託基準（契約書・許可証）、マニフェスト交付・保存及び交付状況報告	遵法
P R T R 法	指定化学物質の排出量の把握	遵法
消防法	保守点検実施、法定検査実施	遵法
フロン排出抑制法	保守点検実施、法定検査実施	遵法

### 2. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環境関連法規遵守状況の確認において、環境関連法規への違反はありません。  
尚、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

## 7. 代表者による全体評価と見直し・指示

削減を大幅にできたのは売上増による所のものが大きい、実際に売上増はアライアンスを結んでいる会社の貢献も大きく、その製作でのCO<sub>2</sub>が入っていないため素直には喜べない。今後のこの辺に対しても見える化が必要である。  
ただ空調を新しくしたため灯油の使用量が0になったことは喜ばしい。